

ひみのふくし

5

2022 May
No.405

企画・発行

社会福祉法人 氷見市社会福祉協議会

〒935-0025 富山県氷見市鞆川975

TEL 0766-74-8407

<http://www.himi-shakyo.jp>

この広報紙は皆さんからの会費、
共同募金の助成金により発行
されています。



わたしの新しい挑戦が

あなたを支える力になる

「先輩方の音訳は素晴らしい。練習を重ね、どんどんトライしてみたい!」と話す山本ふき子さん。昨年、氷見市ボランティア総合センターでは、「音訳ボランティア育成講座」を開催しました。「声を出すのが好きで、活かしたい」「若い頃、視覚に障害のある方と接したが何もできなかった。何かできることがしたい」等、受講のきっかけは様々でしたが、相手に伝わりやすい話し方や「音訳は目の代わり」で情報を得るための大切な手段であると学びました。講座修了者6名が、「音訳ボランティアグループなみの会」に加入し、3月から活動しています。声を通して誰かの役に立つ活動。自分のやりたいことや好きなことを活かして、活動をする笑顔はとても輝いています。



♡CONTENTS♡

- ◆地域づくりを支える「人財育成」…2ページ
- ◆地域共生社会の実現を目指して
- ◆教えて! 介護保険 …3ページ

- ◆つながり続けるふくし Vol.1
- ◆氷見市ファミリー・サポート・センター紹介
- ◆各種お知らせ …4ページ

地域づくりを支える「人財育成」



地域福祉活動サポーターフォローアップ研修の様子

氷見市社会福祉協議会では、住民の皆さんが主役でありつづける地域づくりを推進しています。地域福祉の要でもある「人」はまさしく「財産」です。

市社協ではその育成と活動を支援するため、3月に「介護講座」と「地域福祉活動サポーターフォローアップ研修」を開催しました。また、今年度も地域の皆さんとともに、地域福祉の充実を目指した様々な人財育成事業に取り組みます。



介護講座

在宅介護をしている方や、福祉の仕事や活動に関心のある方等を対象に開講しました。全3回の講座に46人(延べ85人)が参加し、楽しく介護や福祉を学びました。

講座内容

- ①介護保険制度や地域の支え合い活動について知ろう!
〈講師〉氷見市社会福祉協議会職員
- ②高齢者の心理を理解しよう! ～アドラー心理学～
〈講師〉りばてい-One代表 臨床心理士 坂本美奈子氏
- ③認知症の方への対応について学ぼう!
〈講師〉ひみ福祉会実務者研修センター 好川貴治氏



目から鱗の新しい学びも

参加者の声



介護保険制度や高齢者、認知症の事など、知っているようで知らないことが理解でき、とても良かったです。今後の活動や自分のために活用したいです。



高齢者を訪問した時の会話が楽しくできそうです。自分自身の視野が広くなりました。



地域福祉活動サポーター フォローアップ研修

「地域福祉活動サポーター※」を対象に、市内4つのエリアごとに開催し、計59人が参加しました。寸劇を交えて実際の活動を振り返り情報交換する等、活動への意欲が高まる機会となりました。また、今年6月に新規サポーターの育成研修を開催する予定です。



寸劇で住民への支援を想定して演じる参加者

参加者の声



寸劇を見て話し合う事は、より現実的で大変良かったです。



色々新しい発見あり。ハッと気づかされる事あり。今後の活動に活かしたいです。

※地域福祉活動サポーターとは…困りごとを抱えた方を早期に把握し、サービスなどの支援につながりやすくするため、地域住民からの相談などに対応し、地区社協や民生委員などにその情報をつなぐ役割を担っています。現在市内で111名が活動しています。

Information 地域福祉研修センター

〒935-0025 氷見市鞍川975番地(氷見市社会福祉会館内) 電話 74-8407 FAX 74-8409

「地域共生社会」の実現を目指して

氷見市における「地域共生社会」の実現を目指した機能や取り組みなどをシリーズで紹介します。今回は「包括的支援体制づくりのポイント」についてご紹介します。

地域住民の生活を支える、地域が取り組む生活支援サービス

地域共生社会の実現には、誰もが人や地域とのつながりを持ち、孤立しない(させない)地域をつくる必要があります。

そのような地域づくりを目指し、誰もが集える「居場所」づくり(令和4年4月号参照)とともに、地域住民の生活の困りごとの解決を目指した、地域が行う生活支援サービスを推進しています。その取り組みの一例をご紹介します。

外出・買い物を支える取り組み

地域住民の生活を支える取り組みとして、生活に欠かせない外出や買い物を支援する取り組みが行われています。朝日丘校区社会福祉協議会では、校区社協が所有する車両で、個別に送迎をする外出支援が行われているほか、仏生寺地域づくり協議会や宇波地区社会福祉協議会では、地区内の金融機関や商店、市街地への買い物などに乗り合わせて出かける外出支援が行われています。この外出支援があることが、住み慣れた地域での生活維持にもつながります。



仏生寺地区が行う外出支援ハトムギワゴン

地域福祉活動参加のきっかけづくり



参加者も楽しめる「いきいきフラワー活動」

新たな活動を行うには、その活動を理解し担い手として関わってくれる地域住民がいることが欠かせません。

地域福祉活動に関わる住民を増やし関心を高めたいとの考えから、女良社会福祉協議会では、誰もが関われる活動として、花の栽培を通じた住民の交流と、夏に切り花にし高齢者宅などへ訪問配布する取り組みとして、「いきいきフラワー活動」を行っています。

この活動には約50名の地域住民が参加し、その多くの方が女良サポーターとして、いのちのバトンの普及やサロン活動などの地域福祉活動にも関わっています。

これらの取り組みは、地域住民の現在の困りごとを把握するとともに、地域の5年後10年後の変化も予測し、地域に必要な取り組みとして創られました。

教えて! 介護保険

～わたしたちが氷見市のケアマネジャーです～

氷見市社協介護計画センター

氷見市鞍川975番地(氷見市社会福祉会館内) 電話 74-8407

私たちは、社会福祉協議会の居宅介護支援事業所として、地域部門や相談部門、サービス部門との連携が図りやすいことを強みに、公的サービスだけでなく近隣とのつながりを意識した支援を心掛けています。住み慣れた地域で、安心して自分らしい生活が送られるように、一緒に考えていきましょう。



西田
吉田 管理者

柿谷
磯辺

「ケアマネジャー」は、正式名称を「介護支援専門員」といい、介護や支援を必要とする人やその家族と相談しながら、適切な介護サービスを受けるための計画を立て調整する役割を担っています。

コロナ禍が長引き、社会とのつながりが途切れて孤立を深め、困りごとを抱え込んでしまう人がいます。地域社会とのつながりを絶やさないための取り組みを紹介します。

はまなす・ほっとサロン

(宮田地区社会福祉協議会)

地区社協の行事が思うように開催できない中、ケアネットの対象となる方やきこりと100歳体操に参加していた人たちが寂しそうにしているという声を受けて、サロンの開催を決めました。実現に向け、民生委員や地区社協の活動に日頃から関わっているメンバーが健康チェックや健康体操等の楽しい企画を考えました。

当日は43人の参加者と25人のボランティアが参加し、みんなが「つながり」を感じられる日になりました。今後は少しずつ活動を広げ、子どもからお年寄りまで集える場になりたいと考えています。



楽しいね。次の開催はいつ?

狸離子に合わせ
て健康体操。
体もリフレッシュ
できるねえ!



最近、体の調子は
どうですか?

元気です。みんなに
会えて、うれしいわ。

はまなす
ほっとサロン

★ 安心して参加してもらおう工夫 ★

- 日ごろの近所づきあいを感じられるように対象地区を区切って開催
- 会場の3密回避(来場者をグループ分け、動線が交わらないよう設定)
- 飲食の際は、距離を取り、同じ方向を向いて黙食、昼食は弁当をお土産に
- 参加者の把握、手指消毒及び検温の実施

『緊急一時預かり』を実施しています

氷見市ファミリー・サポート・センターでは、保護者の緊急時、乳幼児から小学6年生までのお子さんの一時預かりを行っています。

どんな時に利用できますか?

病院受診、冠婚葬祭等での急な外出や、買い物や美容院に行きたいけど、子どもを預ける人がいないなどの理由で、援助を受けたい時に利用できます。また、病気の回復期(発熱、感染症除く)にあるお子さんの利用もできます。



利用方法、料金等を教えてください。

利用には、事前の登録と予約が必要です。料金は下記の料金表をご覧ください。兄弟姉妹の同時利用の場合は2人目から半額になります。また、一時預かりに伴う送迎も実施しています。その他、気になる事はお相談下さい。

◎利用料金(1時間あたり)

平日	土日祝日	早朝・夜間
400円	500円	650円

※早朝(午前6時~8時)、夜間(午後6時~10時)



Information 氷見市ファミリー・サポート・センター

〒935-0025 氷見市鞍川975番地(氷見市社会福祉会館内)
TEL: 74-5561 FAX: 74-8409
MAIL: kodomokan-kirara@softbank.ne.jp
受付時間: 平日8:30~17:00

ご寄付をありがとうございます

令和4年3月1日~31日受入分(敬称略・受付順)

【福祉基金】

匿名 1,000円
匿名 3,462円

【善意銀行】

アソカ幼稚園父母の会
10,000円
北陸労働金庫高岡支店
地域推進委員会
30,000円



寄付金で購入したベビーサークルの前で労金の大橋委員長(右)から目録を受け取る七分常務理事(左)

地域福祉の推進に活用させていただきます

今月の表紙レビュー

音訳ボランティアグループ なみの会

なみの会は、昭和61年から市内の視覚障害のある方々に、毎月広報誌の音訳CDを届けています。代表の南市いく代さんは、「頼もしい仲間が増えて嬉しい。今後活動の幅が広がっていくことを期待している」と話されています。



新メンバーの練習風景(実際には、マスク着用・感染対策を行っています)